

義務教育9年間を一体的に捉え、めざす児童生徒像を共有し、学習面・生活面を系統化した教育活動

## 次のステージへ

学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。

これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。

※文部科学省webサイトより

([https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/1383986.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1383986.htm))

新しい学習指導要領には、このような願いが込められています。

我が国の教育は「何を教えるか」(内容中心)から、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どう学ぶか」(資質・能力中心)への転換を図ろうとしています。

本市ではこれまで「小中一貫教育でどのような教育実践に取り組むか」に焦点を当て、中学校区ごとに、市教育委員会作成の基本方針に示された実践に、それぞれが取り組む形で小中一貫教育を推進してきました。

今後はさらに、

### 「四街道市の子供たちに育成を目指す資質・能力」

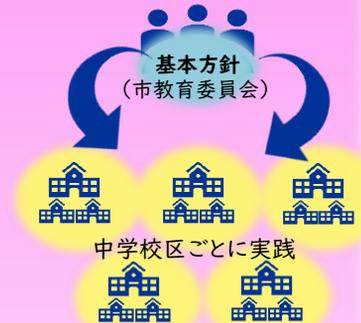
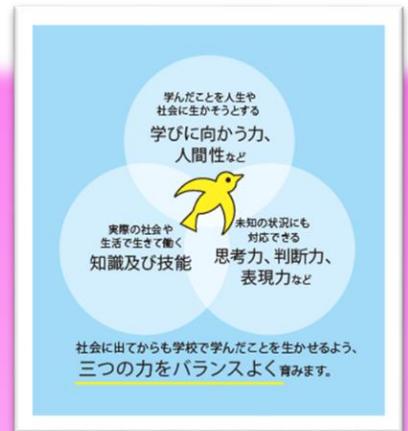
(四街道市の子供たちに育成すべき力)

を明確化し、市内全小中学校で共有します。

そして、その資質・能力を義務教育9年間でどのように育成していくかについて、各学校が実態を踏まえて決定し、中学校区で調整を図りながら実践していきます。

このようにして、市内小中学校の教職員が願いを一つに、四街道市の子供たちの未来を思い描いて教育実践にあたることで、小中一貫教育を次のステージへ進めていきます。

四街道市の小中一貫教育  
くわしくはこちらのQRコードから!



これまでの小中一貫教育から...



次のステージへ...

【イメージ】

